

食品値上げ 6月 3575品

6月の主な食品値上げ

メーカー	商品名	価格・上昇率
白濁食品	カップヌードル	231円 → 254円
東洋水産	マルちゃん 赤いぎつねうどん (レギュラーサイズ)	231円 → 254円
明星食品	明星 一平ちゃん 夜店の焼そば	231円 → 254円
永谷園	お茶づけ海苔 8袋入	270円 → 302円
大森屋 白子 ニコニコのり	家庭用商品各種	10~40%程度
明治	きのこの山、たけのこの里	いずれも 8%程度

(注) 価格は税込み希望小売価格。上昇率は卸売価格や出荷価格を含む。端数は切り捨て。写真は各社提供

値上げの波が再び押し寄せます。帝国データバンクが主要195社を対象に31日までの調査によると、6月の食品値上げは3575品目。カップ麺の一斉値上げもあり、落ち着きを見せた前月(830品目)から急増します。ただ、消費者

の節約志向が強まる中、原材料高に伴う値上げの動きに一服感も出てきました。カップ麺は、500品目超が一斉値上げ。白濁食品の「カップヌードル」や東洋水産の「マルちゃん 赤いぎつねうどん」(レギュラーサイズ)、「明星食品」の「明星

一平ちゃん夜店の焼そば」は、いずれも1日に231円から254円に上がります。

このままに公表された今年の食品値上げは2万5106品目で、早くも昨年の水準(2万5768品目)に肩を並べます。今年4月の全国消費者物価指数は、生鮮食品を除く食料が前年同月比9.0%の上昇と、約47年ぶりの高い伸びとなりました。

のり製品は、国内最大の産地である九州・有明海での記録的不作などが響きま

す。永谷園の「お茶づけ海苔 8袋入」の価格は270円から302円に上昇。大森屋や白子、ニコニコのりの各社は約10~40%の値上げに踏み切ります。価格改定の動きは、菓子や飲料にも広がります。

消費者の生活防衛意識が一段と高まる中、一部の定

番商品では繰り返しの値上げにより買い控えが広がり、価格を抑えた他社にシェアを奪われるケースもあります。帝国データによると、一定の原材料高対応が終わり、値上げの公表ペースは落ちてきているといい、「秋には値下げの動きが出るかもしれない」(担当者)との見方を示しています。

止まりしています。ただ、前月比で見ると、卸値の平均基準値は4月まで3カ月連続で上昇していましたが、5月は横ばいとなっていて、国内では4月7日以来、鳥インフルエンザの発生が報告されておらず、価格高騰に一服感が出ています。

卵の卸値が 5月最高値

JA全農たまご(東京)が31日公表した卵の卸値の5月平均基準値(Mサイズ、東京地区)は、1時当たり前年同月比13.1円高の350円でした。5月としては記録が残る1954年以降で最高値を更新しました。高病原性鳥インフルエンザの流行に伴う鶏の大規模処分の影響で卵の供給が不足しており、価格が高

止まりしています。ただ、前月比で見ると、卸値の平均基準値は4月まで3カ月連続で上昇していましたが、5月は横ばいとなっていて、国内では4月7日以来、鳥インフルエンザの発生が報告されておらず、価格高騰に一服感が出ています。

今季は昨年10月以降、全国26道県で鳥インフルエンザの感染が確認され、過去最悪の約1771万羽が処分されました。